

秘  
農林水産省



マスケットキャラクター「つっちー」

統計法に基づく基幹統計  
農林業構造統計

# 2015年農林業センサス 農林業経営体調査票

(平成27年2月1日現在)

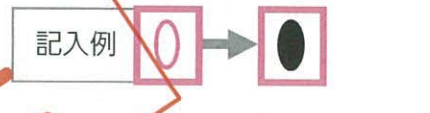


政府統計

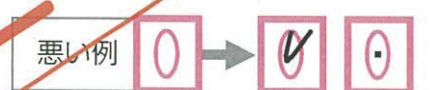
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合→	8	8	8	8	8	8

- 記入する前に、必ず「記入の仕方」をご覧ください。
- この調査票は、統計の作成や各種統計調査の母集団情報以外の目的には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように右づめで記入してください。
- ★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃く塗りつぶしてください。



★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。



## 【1】経営体の概要

1 経営は会社などの法人化をしていますか。該当するもの1つに必ず記入してください。

法人でない		101	0	
法人である	農事組合法人		0	
	株式会社		0	
	合名・合資会社		0	
	合同会社		0	
	相互会社		0	
	各種団体	農協		0
		森林組合		0
		その他の各種団体		0
その他の法人			0	
地方公共団体・財産区			0	

注:特例有限会社は株式会社に該当します。

家族経営の方は → 次のページの【2】世帯へ  
組織経営の方は →

組織経営の方のみ記入してください。

2 牧草を栽培することにより、家畜の預託事業を営んでいますか。該当するものに記入してください。

営んでいる	102	0
営んでいない		0

注:預託料をとって牛馬を預かり、放牧している牧場で、地方公共団体や農協などが経営しているのが一般的で、夏期だけのものや周年のものが該当します。

3 共同で牧草を栽培し、共同で採草、放牧に利用していますか。該当するものに記入してください。

している	103	0
していない		0

注:集落や数戸の農家が共同で牧草を栽培し、かつ共同で採草、放牧に利用していて、各戸に割地されていない場合が該当します。

4ページの【3】農業経営内部の労働力へ

2、3ページは、家族経営の方のみ記入してください。

【2】世帯

1 世帯員の人数を記入してください。

		男(人)		女(人)	
世帯員の数	201	8	8	8	8
そのうち、満14歳以下の世帯員の数 (平成12年2月1日以降に生まれた方)	203	8	8	8	8

※「自営農業」には、世帯として請け負った(受託した)農作業を含みます。

2 満15歳以上の世帯員(平成12年1月31日以前に生まれた方)について記入してください。

続柄番号

01:世帯主	07:兄弟姉妹
02:世帯主の配偶者	08:祖父母
03:子	09:孫
04:子の配偶者	10:孫の配偶者
05:世帯主の父母	11:その他
06:世帯主の配偶者の父母	

	① 世帯主との続柄 続柄番号を記入	② 性別 いずれかに		③ 出生の年月 該当する元号・出生の年月を記入してください。						④ 過去1年間のふだんの状況					
		男	女	元号		出生の年月				仕事を主にしていた		主に家事・育児を行った	主に学生(研修を含む。)であった	その他 (高齢や病気などで 何もしなかった)	
				明治	大正	昭和	平成	年	月	主に自営農業を行った	主に他に勤務した 自営農業を行った				
世帯主	01	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員1	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員2	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員3	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員4	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員5	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員6	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0
世帯員7	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0

3 世帯としての所得

(1) 世帯員の中で、過去1年間に自営農業以外の仕事に従事した方がいますか。  
該当するものに必ず記入してください。

いる	205	0
いない		0

いる場合

(2) 世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。  
該当するものに記入してください。

自営農業による所得が多い	206	0
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない)		0

**注意**

従事日数(管理労働を含む。)は、1日を8時間として計算してください。

(例)

- 1日4時間ずつ働いた場合 …2日で1日分
- 毎日1時間ずつ働いた場合…8日で1日分
- 過去1年間で労働時間が8時間未満の場合 ……………1日

※過去1年間に仕事をしていない方は記入しないでください。

なお、従事日数が同じ場合は、収入の多いほうに記入してください。

世帯主	⑤ 過去1年間で自営農業に従事した日数 <small>手伝いなどで自営農業に従事した場合も含まれます。</small>								⑥ 仕事の日数は		⑦ 農業経営または林業経営の		
	1	30	60	100	150	200	250	日	自営農業が多い	その他の勤務や自営業が多い	経営主である	経営の後継者である(予定者を含む)	
												経営主と関係が深い	経営に方針が決定している
従事しなかった	29	59	99	149	199	249	日以上	必ず1つに	該当するほうに	必ず1人に	すべてに	1人に	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※過去1年間でいずれかの決定に参画した方(経営主を除く。)に記入してください。

- 生產品目や飼養する畜種の選定・規模
- 出荷先の決定
- 資金調達
- 機械・施設などへの投資
- 農地借入の決定
- 農作業受託(請負)の決定
- 雇用の決定・管理

世帯内に後継者がいない場合

4 世帯から離れて住んでいる農業経営の後継者(満15歳以上)がいますか。該当するものに記入してください(予定者を含みます。)

注:「農業経営の後継者」とは、次の代でその家の農業経営を継ぐ人です(予定者を含みます。)

い	る	0
い	ない	0

次のページの  
【4】農業経営の雇用へ

組織経営の方のみ記入してください。

### 【3】農業経営内部の労働力

経営の責任者・役員・構成員のうち、過去1年間に農業経営に従事した人について、従事日数別に実人数を記入してください。

	実人数(人)	男		女	
		実人数(人)	従事日数の合計(人日)	実人数(人)	従事日数の合計(人日)
1 ~ 29日	303			304	
30 ~ 59日	305			306	
60 ~ 99日	307			308	
100 ~ 149日	309			310	
150 ~ 199日	311			312	
200 ~ 249日	313			314	
250日以上	315			316	
計	301			302	

注:従事日数には、管理労働を含みます。常雇、臨時雇の労働力は含みません。

【4】からは、すべての方が記入してください。

### 【4】農業経営の雇用

#### 1 常雇

過去1年間に農業経営のために常雇した(あらかじめ7か月以上の契約で雇った人)について、実人数と従事した日数の合計を記入してください。

	実人数(人)	従事日数の合計(人日)	
		男	女
男	323	324	
女	325		326

該当する年齢別の実人数を記入してください。

	実人数(人)	従事日数の合計(人日)	
		男(人)	女(人)
15~24歳	327	328	
25~34歳	329	330	
35~44歳	331	332	
45~64歳	333	334	
65歳以上	335	336	

#### 2 臨時雇

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営のために臨時雇した人(手伝いなどを含みます。)について、実人数と従事した日数の合計を記入してください。

	実人数(人)	従事日数の合計(人日)	
		男	女
男	343	344	
女	345		346

### 【5】土地

土地の状況を記入してください(けい畔を含めます。)

	1畝	1反	1町	10坪	100坪	1,000坪
a (アール)	約1a	約10a	約100a	約0.3a	約3.3a	約33a
m	約100m	約1,000m	約10,000m	約33m	約330m	約3,300m



自分が耕作している土地を、1年間のうち一部の期間だけ貸した場合には、貸している土地には含みません。

	実人数(人)	従事日数の合計(人日)	(ha)	(町)	(反)	(畝)
所有している田	406					
そのうち、貸している田	407					
そのうち、耕作を放棄している田	408					

1年間のうち一部の期間を借りた土地の場合、借りていない期間を所有者(貸した側)が作付けしている場合は、借りている土地に含みません。

	実人数(人)	従事日数の合計(人日)	(町)	(反)	(畝)
借りている田	409				
経営している田 (406-407-408+409)	①				

経営している田に過去1年間にどのような作付けをしましたか。該当する項目に面積を記入してください。

	面積	(町)	(反)	(畝)
稲を作った田				
②食 用 主食用米、加工用米、米粉用米	412			
③飼料用 飼料用米、ホールクroppサイレージ用稲など	413			
②、③のうち、裏作物を作った田(二毛作を行った田)	414			
稲以外の作物だけを作った田	415			
何も作らなかった田	416			

(412+413+415+416は、経営している田(①)と一致します)

#### 注意

- 常雇、臨時雇には、2、3ページ【2】の世帯員の人数、従事日数は含めないでください。
- 従事日数には、管理労働を含みます。
- 臨時雇には、農業研修生、手間替え、ゆい(労働交換)なども含みます。

**注意**

- 土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。
- 居住地以外の、他の市区町村にある土地も含めて記入してください。
- すでに原野化し、現状が耕地でないものは除きます。
- 「耕作を放棄している」は、1年以上作付け(肥培管理も)していない土地のうち、今後も作付けする考えのない土地をいいます。なお、すでに原野化している土地は含めないでください。
- 「貸している」「借りている」は、無償の場合も含まれます。
- 実質的に経営を任せている場合は、「貸している」に記入してください。

**畑**

(牧草専用は含み、**樹園地は除きます。**)

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
所有している畑	417	8	8
そのうち、貸している畑	418	8	8
そのうち、耕作を放棄している畑	419	8	8

**借入地としない**

自分が借りて野菜を作付け 所有者は水稻を作付けしている 自分が借りて麦を作付け  
平成26年2月 借りた土地に所有者が耕作 平成27年2月

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
借りている畑	420	8	8
経営している畑 (417-418-419+420)	④	8	8

経営している畑に過去1年間にどのような作付けをしましたか。該当する項目に面積を記入してください。

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
普通作物を作った畑	423	8	8
飼料作物だけ を作った畑	424	8	8
牧草専用	425	8	8
何も作らなかった畑	426	8	8

(423~426の合計は、経営している畑(④)と一致します)

注:「飼料作物だけを作った畑」には、牧草を作った畑を含めますが、牧草だけを作った畑は「牧草専用」とします。  
「牧草専用」には、草地造成により造成した草地を含め  
ます。

**樹園地**

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
所有している樹園地	427	8	8
そのうち、貸している樹園地	428	8	8
そのうち、耕作を放棄している樹園地	429	8	8
借りている樹園地	430	8	8
経営している樹園地 (427-428-429-430)	⑤	8	8

**耕地以外(山林・原野など)**

山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		(ha)	(a)
		(町)	(反)
耕地以外で利用した土地面積	441	8	8

**ハウス・ガラス室**

過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室の実面積を記入してください。

		(a)	m <sup>2</sup>
		(畝)	
ハウス・ガラス室の実面積	442	8	8

注:ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。

水稻の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

**山林**

のちほど、12ページで記入してください

**【6】所有している農業用機械**

現在所有している機械について、その台数を記入してください(複数の農家で共有している場合は保管している方のみ記入してください。)

		所有台数 (台)
動力田植機	451	8
トラクター	452	8
コンバイン	453	8